



萩市須佐地域

公民館だより

令和7年

1月

第618号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 Tel.08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 Tel.08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

師走のみことマラソン大会！



小学1・2年生が須佐診療センター横をスタート！



ファミリーの部・お父さんと走る園児たち



高校一般の部：元気よくゴール！

今月の話題

- 地域内でみことマラソン大会開催・・・・・・・・2P
- 生き生き教室：木と防災道路見学へ・・・・・・・・3P
- 各公民館学級の活動・・・・・・・・4、5P
- ゆく年、くる年・・・・・・・・9P

※公民館奮闘記、ぶらぶらタムラ、子育て日記は
お休みします。

迎春



今年もよろしくお願ひします

厳しい寒さの中...

70名が須佐路を走る!

第6回みことマラソン大会



今年一番の寒さとなった12月15日(日)にみことマラソンが開催され、子どもから大人まで多くの方が参加されました。また、参加者は須佐地域だけでなく、田万川地域からも参加がありました。

コースは、ファミリーと小学校1・2年生が大瀬寺入口までの往復1kmに。小学校3・4年生が松原までの往復1.5kmに。小学校5・6年生が松原上までの往復2kmに。中学生、高校生、一般がエンコウ淵までの往復3kmに、それぞれ挑戦しました。

今年もいろんなエピソードがありました

以前、駅伝大会の時に着ぐるみを着て走った参加者がいましたが、今回、スタートとゴール(須佐診療センター横)地点の歩道側で、動物な

どの着ぐるみを着て応援している人達が5名いました。よく見ると、保健推進協議会須佐支部の皆さんでした。ポンポンを持って大声で「頑張れー!」と応援している姿に、子ども達も共感したようで、走り終わった小学生が、ゴール近くまで走ってきた選手へ、一生懸命応援している姿が印象に残りました。



「私たち応援隊だよ!」

また、保育園児親子2組と一緒に走っている時、休みにお父さんと走るのがうれしいうで、園児たちが楽しそうに、にこやかな顔で走っていました。(表紙写真)

一昨年には、中学校最後の思い出のマラソンということで、当時中学3年生の女子3人が手をつないで仲

良くゴールをしていました。今回、小学5年生の男子と6年生の男子が、2人で仲良く一緒に、ゴール近くまで走っていたのですが、ゴールが見えた途端、6年生が急に加速してゴールしてしまったというエピソードもありました。

その時、5年生の男の子は、どう感じていたのでしょうか。そして、高校3年生で、夏に高校生が考えたお祭りのイベントを催した野村廉凌君も参加し、高校最後のマラソン大会を思いっきり満喫していました。(表紙写真)

今年も、それぞれにいろんな出来事があったようです。参加された選手皆さん、そしてスタッフの皆さん、寒い中大変お疲れさまでした。

【大会結果】

ファミリー1kmの部



- 1 位 松原楓花(須佐保年長)
- 2 位 松原雅人(保護者)
- 3 位 福島凛花(須佐保年中)
- 4 位 福島雄樹(保護者)

小学校1・2年男子1kmの部

- 1 位 角野 誉(育英小2年)
- 2 位 野村絆成(育英小1年)
- 3 位 川口海風(育英小2年)

小学校1・2年女子1kmの部

- 1 位 椋木朱里(育英小1年)
- 2 位 豊田希蒼(育英小2年)

- 3 位 松原琴葉(育英小1年)

小学校3・4年男子1.5kmの部

- 1 位 原田瑞己(育英小3年)
- 2 位 野村岬希(育英小3年)
- 3 位 石戸結葵(育英小3年)

小学校3・4年女子1.5kmの部

- 1 位 工藤 雫(育英小4年)
- 2 位 久原心暖(育英小4年)
- 3 位 澄岡 葵(育英小3年)

小学校5・6年男子2kmの部

- 1 位 叶 周悟(多磨小6年)
- 2 位 篠原天真(育英小5年)
- 3 位 羽立悠泰(育英小6年)

小学校5・6年女子2kmの部

- 1 位 上田 聖(育英小6年)
- 2 位 石戸結菜(育英小5年)
- 3 位 穴戸友香(育英小6年)

中学校男子3kmの部

- 1 位 谷本那智(須佐中3年)
- 2 位 兒玉斗輝(須佐中1年)
- 3 位 角野奏吉(須佐中2年)

中学校女子3kmの部

- 1 位 山本ひかる(須佐中2年)
- 2 位 山本ちる(須佐中1年)
- 3 位 大谷梓紗(須佐中1年)

高校・一般男子3kmの部

- 1 位 高津府制(田万川)
- 2 位 野村廉凌(高校3年)
- 3 位 中本勇介(高校3年)

高校・一般女子3kmの部

- 1 位 高津美鈴(田万川)
- 2 位 林 彩花(山根丁東)

木与防災道路を見学

11月20日（水）、元気な高齢者を支援する生き生き教室の特別研修として、木与防災道路（山陰道）へ現場見学へ行ってきました。

今回は、木与第1トンネル（田部トンネル木与側出口で作業中の現場）と木与第3トンネル（木与恵寿園入口付近）の2か所を見学しました。トンネルの中の工事の様子はなかなか見れないとあって、参加者は行きの車の中でも、ワクワクしながら現場へ到着するのを待っていました。

まず第1トンネルでは、全長1972mのうち現在1300mほど完成しているということで、トンネル



第1トンネル内で話を聞く参加者

内へ車で移動し、途中車を降りて説明を聞きました。トンネル内は作業用ライトでとても明るく、そして外から大きなパイプを通して新鮮な空気を送っていることから、視界がよく驚きました。



「ダストコレクター」は、中の空気をきれいにします

トンネルが完成するには、さまざまな工程を少しずつ慎重に行うというところで、なかなかすぐに開通ということにはなりません。現在、昼夜2交代制で工事を進めていることから約2年間で1300m掘り進めることができたということです。また、切羽という掘削現場を見させていただくこともでき、発破作業



ここから先は、爆薬で穴を空けます

は見ることはできませんでしたが、日頃見ることのできない現場を見ることができました。

また、第3トンネルでは、トンネルの壁面を使ってプロジェクトで映された資料や、今回行けなかった現場とライブ中継をつないでいただき、詳しい説明を受けることができました。

また、第3トンネルは道路をまたぐというところで橋を架けるのですが、その橋の脚の部分が完成するまでに1つ約6か月かかるそうです。

今回橋下部がどのように作成されるのか、また完成予想図はどのような感じなのかをAR（拡張現実）というスマホなどのカメラを実際の現場に向けると、画面上に完成した際のイメージが映し出され、よりリアルに完成のイメージ

がつかみやすいという機材を実際に使用させていただきました。

参加者は、最初はよくわからない様子でしたが、作業員の方に補助していただきながら見ることで、「今は技術が進んでいてこんな便利な機械もあるんだね」「これならイメージがしやすいね」と皆さん感動されながら見学していました。

今回の木与防災道路の、宇田木与間の道路は一定の雨量が降ると、土砂災害の危険があることから通行止めになることが多く、迂回路としてバイパスを最初に作るということで現在進められている工事だということでした。

実際に、現場を見られた参加者は、「初めてこんな見た！」「見られて良かった」

「今は技術が進んでいくけれど、昔は手作業だったから大変だったよね」「早くできればいいね」など、思い思いの感想を述べていました。



ヘルメットをかぶったままで記念写真！



旬の食材でクッキング！

弥富料理教室

11月18日（月）、弥富交流促進センターで、割烹「千代」の児玉勝美さんを講師に、旬の食材を使った料理を教えていただきました。

今回は、「鱈（さわら）ハンバーグ」「里芋グラタン」「そば寿司」「じゃこ錦おにぎり」「かまあげのかきたま汁」「さつまいもの春巻きパイ」の6品です。須佐中学校1年生の生徒さんも一緒に調理実習を楽しみました。



児玉さんから 作り方を学ぶ生徒



男子生徒と一緒に調理する参加者

はじめに、「もう一度おさらいしたい料理のコツ」を簡単にお話していただきました。「味付けの基本は『ほんの少し薄い』と感じるくらい、同じ物を食べると味が『濃く』感じてきます」「塩は万能調味料！野菜の水分抜き、魚の臭み取り、魚介類のヌメリ取り、旨味を引き出す、甘味を強調したいときなど様々な用途があります」と、いろいろなコツを教えていただきました。

調理実習では、レシピを見ながら生徒さんとそれぞれ役割を決めて、和やかな雰囲気の中で料理を作っていました。皆さん忙しそうな様子でしたが、生徒さんとコミュニケーションをとりながら作っていました。里芋グラタンで使うホワイトソース作りでは、実際に先生に作っても

らいながら、気を付ける点を教えていただきました。「ダマにならないように、牛乳は温かい物と冷たい物を用意して、最初に冷たい牛乳を入れ、温度差を作ることによりダマが出来にくくなり、後から温かい牛乳を入れることにより時短になります」と説明され、皆さん気を付けながら作られていました。

そば寿司もご飯とは違い、なかなか簡単に巻くことができなかったよううで、少し時間がかかりました。

料理が出来上がると、一緒に作った生徒さんと話をしながら楽しく会食されました。

今回も、ためになる料理のコツを教えていただき、参加された方も「また来年も参加するね」と、とても満足された様子でした。



みんなで盛り付け、おいしそう…

弥富作品展開催！

弥富公民館



11月13日から12月13日までの1ヶ月間、弥富交流促進センター多目的ホールにおいて作品展を行いました。

作品は、弥富地区の園児、児童、生徒の作品と、地域の方の作品を合わせて95点の作品が展示されました。

作品展期間中、鑑賞に来られた方々に作品を見てアンケートを書いていただく、「日頃の皆さんの生活意欲を感じました」「少ない人口の中での様々な活動、また、子ども達の描いた絵に感動しました」「着物のリフォームがとてもステキでした。私も時間に余裕が持てるようになったら、創作活動を再開したい」など、心温まるお言葉や励ましの言葉を多数いただきました。

今後も、この作品展を継続していきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



皆さんで協力して作った作品展示

漢陽寺で紅葉を楽しむ

須佐さつき学級

秋も深まる11月21日(木)、周南市鹿野の漢陽寺へもみじ狩りに行ってきました。参加者は17名。当日は天候も良く、紅葉はこれ以上ない程ばかりのタイミングでとてもきれいでした。

まずは漢陽寺へ。全員でお庭を眺めながらご住職から鹿野やお寺、お庭についての説明をして頂きました。



お庭を鑑賞しながら住職の話を聞く参加者

その後しばらく自由行動。参加者の皆さんは、思い思いに登録文化財にも認定されている庭園を楽しんでおられました。

そして記念写真を撮り、近くのライオン岩展望所まで移動。小高い山

の中腹に岩が露出しており、その様がライオンの横顔に見えるというスポットでした。「あーライオンに見えるー!」



ライオンに見える?

という声があると思えば、「象にみえるよ!」という声などもあり、想定していたよりも盛り上がりつつありました。

昼食は、豊鹿里パークセンターハウスにてお弁当を頂きました。今回のお弁当は鹿野大潮にある「大潮田舎の店」におられる周南市地域おこし協力隊の杉さんのご協力によりご用意して頂きました。



彩も素敵でおいしかったです

こちらが大好評。自慢の豆腐を使った豆腐ハンバーグがメインで、しかも副菜盛りだくさんの豪華なお弁当でとてもおいしかったです。

来年度も遠出を伴うさつき学級を1回実施したいと思っています。工場見学や社会見学を予定しておりますが、皆さんが行ってみたい所や経験してみたい事がございましたら、須佐公民館までお知らせください。

こんにゃくを食べましょう

弥富物作り教室

12月16日(月)、齊藤洋子さん(9区)を講師にお迎えし、「こんにゃくを作って一緒に食べましょう」ということで、こんにゃく作りを行いました。20名の方に参加していただき、4グループに分かれて挑戦しました。

《手作りこんにゃくレシピ》

- ① 水を沸かし30℃くらいのぬるま湯を3.2リットル用意する。
- ② こんにゃく芋はよく洗い泥を落とし、幅2cmくらいに切る。
- ③ (芽はスプーン等で取り除く)
鍋に切った芋を入れ、芋がかぶる位の水を入れ、箸が通るくらいまで茹でる。(底に芋がくっつかないように、時々混ぜる)
- ④ 茹であがったらザルにあげ、手で皮をむく。(きれいにむかなくても大丈夫)
- ⑤ 芋とぬるま湯を4:5回に分けて、一緒にミキサーにかける。
- ⑥ ミキサーにかけた芋を鍋などに入れ、全体をしっかりと混ぜ合わせ40分置く。
- ⑦ 炭酸ソーダを熱湯150ccで溶かす。
- ⑧ 軽く混ぜた⑥に溶かした炭酸ソーダを少しずつ入れ、よくかき混ぜる。(粘りが出るくらい)

パットなどに入れ2時間置く。
⑨ 2時間置いた後、包丁で何等分かに切り分け、それを沸騰した湯の中に入れ、白っぽくなるまで茹でたらできあがり。

参加者は、不安な点があると先生に質問をされ、「ミキサーにかけやすいように、大きさを均等に切る」と「茹であがったこんにゃく芋の皮をきれいにむくと真っ白なこんにゃくになるの



こんにゃくのアク抜きをする参加者

で、皮を少し残す方が良い」など、いろいろな注意点を教えていただき、気を付けながら作られていました。炭酸ソーダを入れた後の待ち時間で、先生が事前に作ってくださったこんにゃく料理、「きんぴら」と「おさしみ」を試食すると「やわらかくて美味しいね」と絶賛されていました。

皆さんできあがったこんにゃくに大変感動され、「上手にできて良かったね」と喜んでおられました。



放課後子ども教室活動

子ども情報誌

『あ・そ・ぼ』 交流事業



弥富放課後子ども教室

12月7日（土）、子ども情報誌「あ・そ・ぼ」の特別企画として、弥富公民館で弥富の子ども達との交流事業が行われました。萩明倫小、椿東小、白水小から8名、弥富からは2名の小学生が参加し、レクリエーションや料理体験をして交流を深めました。



仲良くオムレット作り！

レクリエーションでは、仲間づくりを中心としたメニューで、最初は初めて会った仲間に打ち解けられず、もじもじとした様子も見受けられましたが、プログラムが進むにつれ仲



協力して調理をする子ども達

良く会話が出来るようになり、みんな楽しそうにしていました。

料理体験では、3班に分かれて、「サンドウィッチ」と「米粉のオムレット」に挑戦しました。それに挟む具材を包丁で切り、ホイップクリームなどでデコレーションして完成となりました。

なかなか、他の地域のと交流する機会が少ない中、最初は緊張した弥富の子ども達にとって、とても貴重な体験となりました。

最後に子ども達全員で記念撮影をして終了。友達の輪が広がった一日でした。



クリームたっぷり！

キレイな花咲かせてね！

須佐放課後子ども教室

毎週水曜日に須佐公民館で活動している放課後子ども教室では、この時期、花壇の花の植え替えを行っており、12月4日（水）は、春から夏の花の苗、約540本を教室で活動する小・中学生と大人で植えました。



真剣に植える子ども達

花は、キンセンカ、ノースポール、ビオラ、パンジー、デイジー、キンギョソウ、ナデシコの7種類です。学校から戻って来た低学年の子ども達から、須佐総合事務所前の花壇へ駆け寄り、植え方の説明をしてからゴム手袋をして、早速植えていきました。そのうち、6年生までの全員がそろい、みんなで手分けして植

えていきました。

また、小学生の時、子ども教室へ通っていた中学生も、最近では、学習塾の時間までの間、須佐公民館で過ごすようになっていたので、中学生にも手伝ってもらいました。

当日は、気温も低く冷たい風が吹いていたので、最後の水やりは大人がしましたが、みんなで頑張って植えたので、早く終わることができました。

寒い冬を越し、春にはたくさんきれいな花が咲くといいですね。

公民館にツリーを飾つたよ！



花の苗を植えた後は、須佐公民館の1階ロビーで、クリスマスツリーの飾り付けを行いました。毎年の恒例となっており、きれいな飾りやモールなど、みんな思い思いに飾っていました。最後はピカピカライトが光る、キレイなツリーとなりました。



キレイにできたかな…



あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。

地域おこし協力隊の山本一貴です！

今回は今更ではありませんが、皆様
に知ってほしいので地域おこし協力
隊（以下、協力隊）について改めて
ご紹介させて下さい。協力隊は総務
省が所管する取り組みで、すぐわか
りやすい説明がありましたので記
載してみます。

『地域おこし協力隊は、都市地域
から過疎地域等の条件不利地域に住
民票を異動し、地域ブランドや地場
産品の開発・販売・PR等の地域お
こし支援や、農林水産業への従事、
住民支援などの「地域協力活動」を
行いながら、その地域への定住・定
着を図る取組です。隊員は各自自治
体の委嘱を受け、任期はおおむね1年
から3年です。』（総務省HPより）

これに僕を照らし合わせてみます。
地元は大阪、前住所は周南市。そこ
から須佐へ住民票を異動し、公民館
を拠点に活動して、地域づくり・人
づくりに貢献する「地域協力活動」
を行っています。僕の立場は萩市の
会計年度任用職員で支援団体として
NPO法人須佐元気なまちづくりネッ
トが協力隊活動を支援してくれてい
ます。任期は最長で3年で令和8年
12月末までです。

協力隊員は、地域活性化の仕事に
就きながら、仕事や住居など定住に



中世益田ビッグフェスタでの一幕

向けた準備ができます。僕は3年の
任期の後、須佐に定住する予定です。
ここで飯を食っていききたいです。
本当に宜しくお願い致します。

今は自分のことを地域の人に知っ
てもらいたいの、スマホなんでも
相談所を須佐公民館でやっています。
実は、この取り組みは、山形県遊
佐町の協力隊の方がやっておられ、
地域の方とコミュニケーションをと
るのにとっても良いと勉強会で知った
ので真似しています。

他にも協力隊は日本各地の県や市
町村で働いています。

隣の益田市には、観光協会に歴史
と柴犬が好きな柴田隊員が。11月17
日の中世益田ビッグフェスタでは柴
犬行列なるものを決行され、僕はそ
れを家族と共に見に行ってきました。
たくさん並んでいる柴犬はともか
わいく、沿道の方々からは笑みがこ
ぼれていました。

周南市には鹿野の大潮田舎の店に
杉隊員が。おからの入ったおいしい
ドーナツ「まるやまドーナツ」を開
発され販売しています。先日さつき
学級で漢陽寺へ行った際には、こち
らのお店のお弁当を用意して頂きま
した。

岩国市の錦川鉄道には木村隊員が。
錦町駅を拠点に活動されており、イ
ベントの企画、開催をされています。
この前、家族で錦町へ行き、息子は
錦川清流線で鉄道デビューしました。
美祢市の厚保公民館には倉石隊員
が。地域の若者世代が作った計画、

あつ夢プランに携わる活動をされて
います。行政発進ではないこのプラ
ンに興味があったので先日お話を聞
きに行きました。

僕は特別これといったスキルを持っ
ていないので他の協力隊から学んだ
り、いろんな勉強会に参加したりし
て、そこで得たアイデアや知識をこ
れから活かしていきたいと思っています。



錦川清流線で鉄道デビュー（家族とともに…）

この1月で須佐へ来て1年が経ち
ましたが、なかなかうまくいこと活動
できていないなというのが正直な
僕の感想です。任期終了後に定住で
きるように頑張っ参ります。よろ
しければ皆様アドバイスをください。
どうかよろしく願いいたします！

「おおきに！」

地域トピックス

須佐駅前 イルミネーション点灯!



12月、クリスマスが近づくにつれ、各地域でイルミネーションが点灯される時期となりました。

須佐駅前では、12月7日(土)に点灯式が行われ、カウントダウン前から多くの来場者が来られており、寒さで温かい飲み物やスープ等を求める人など、大変賑わっていました。会場では、来られた子ども達から、クリスマスツリーの飾り付けを行っており、家族で一緒にたくさん飾りをつけていました。

点灯までの間は、田万川の龍さんがクリスマスソングなどを、来場者の歌声と一緒にギターで演奏されていました。また、慌てん坊のサンタさんも登場し、子ども達全員にお菓子とバルーン風船のプレゼントを配り、子ども達もとても嬉しそうに受け取っていました。

辺りが暗くなってきた午後5時30分、来場者全員で「3、2、1」とカウントダウンした後、一斉に灯りが付き「ワーツ!」と歓声が上がりました。なお、このイルミネーションは、令和7年1月5日まで点灯していますので是非、ご覧ください!



きれいにイルミネーションが点灯された須佐駅前

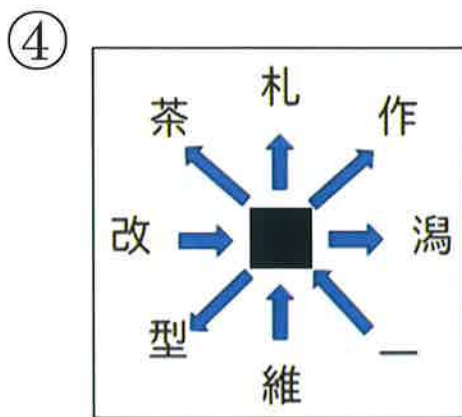
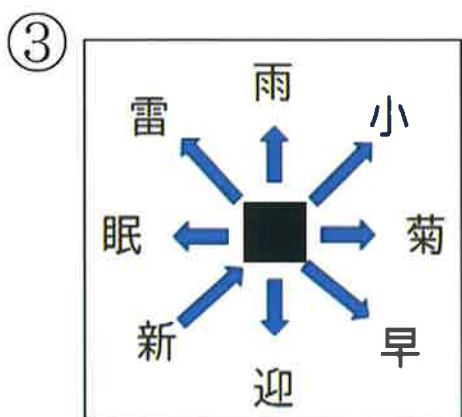
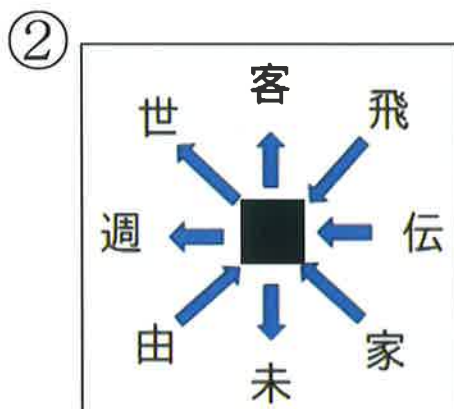
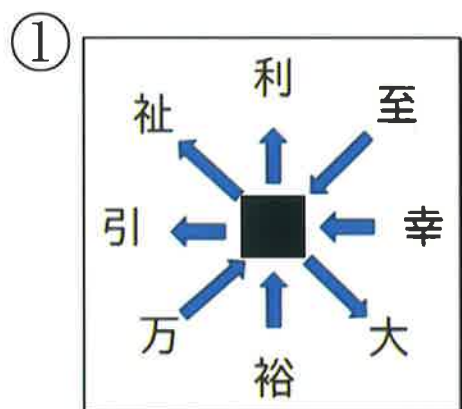


ツリーの飾り付けを楽しむ来場者

おうち時間を楽しく過ごすぞう!

お正月、家族みんなでクイズに挑戦しましょう。

今回も「漢字穴埋めクイズ」です。前回より難易度が少し高くなっていますので、家族団らん、みんなで考えてみましょう。
【Q、次の①～④の■に入る漢字を、それぞれ応えましょう。その後、その■に入った漢字を並べて出来る「四字熟語」は何でしょうか。】
(※答えは最終ページにあります。)



四字熟語＝■■■■





「公民館だより」で振り返る一年…

令和6年は、教室やいろんな活動で元気に公民館へ通い、話声や笑い声がたくさん聞こえてくる、楽しそうな地域の皆さんが、とても印象的でした。皆さんは、どんなことが印象に残っていますか？
ここでは、令和6年1月から12月までの一年間を、「公民館だより」で振り返って見ますので、是非ご覧ください。

★「見て楽しい公民館だより」を指し、新たなコーナーを設けて紙面をリニューアル！（R6年2月号）

●地域おこし協力隊「山本一貴」さんが須佐地域へ新たに着任！
今回から行政ではなく、団体が隊員を引き受けることに…。引き受け支援団体は、須佐元氣ネット。

（R6年2月号）

●「大谷翔平」さんからのグローブが、育英小学校へも届く！
全国の小学校へ向け、大谷翔平さんが送ったという3つのグローブが届き、児童たちは早速、グローブを手



に、笑顔でキャッチボールをして楽しんでいました。

（R6年3月号）

★新コーナー「我が家のアイドル」を紙面に掲載！
「広報すさ」に掲載されていた赤ちゃんのコーナーを公民館だよりで復活！初回は、遊縁（入江）の川口さん家の海弥ちゃんと優海ちゃんでした。

（R6年4月号）

●特集対談「地域課題もう後がない（前編）」を行いました。
隔年で開催している「対談」をもとに2ヶ月にわたって特集記事として、ひと月4ページの特集を組んで掲載しています。

（R6年7月号）

※後編は8月号で掲載

●須佐を元気にしたい！
8月15日「高校生が考えたお祭り」が開催される。

初めて高校生が企画した祭りが、お盆に開催されました。内容は、須

佐文化センターのホールで、大画面を使つてのゲーム大会と、外ではお店のブースに、輪投げなどの体験コーナーが設置され、大勢の来場客で大変賑わいました。（R6年8月号）



祭り当日：ゲーム大会の様子

★「あの頃の須佐は」を新コーナーとして掲載！
40年前頃の須佐を「広報すさ」から振り返り、元氣だった頃の須佐町を地域の皆さんに発進するために始めたコーナー。（R6年8月号）

●中学2年生が須佐地域内で職場体験を実施
毎年行われている職場体験が9月3、4日に行われました。須佐公民館でも女子1名が派遣され、生き活

き教室のつどい会の調理とレクリエーションを体験し、それを公民館だよ

りの記事として書いて頂きました。体験を通し、「将来のために、公民館のような素敵な場所働くという目的を持っていきたいと語ってくれました。（R6年10月号）

●秋の大運動会盛り上がる！
10月20日、育英小グラウンドで須佐地区の大運動会が、久々に運動会形式で開催され、混合4チームが優勝目指して競技に挑みました。

（R6年12月号）

●32年間の歴史に幕：幕末体験育英塾が今年を最後に閉塾
育英小学校の高学年児童が、幕末の頃の授業と剣術を再現し、「益田館」で学ぶ体験を毎年行っていたが、長

年塾長を務められた西村武正さん（山根丁東）も97歳に。また、子ども達の人数も減ってきていることから、育英塾は今回で閉塾となった。



みんな頑張り、最後の育英塾

（R6年12月号）



えい
衛ちゃん

まちの駐在さん



Q：普段の服装（警察官の服装）で、普段身につけている装備には何がありますか。また、それらは、どんな時にどのようにして使うのですか、教えてください。

「お答えします」 須佐駐在所：衛藤豊文

制服警察官が、勤務中に身につけている装備品には、次の物があり、それぞれの使用や装着の目的は、次のとおりです。

- ①警察手帳：警察官であることを証明するものです。
- ②警棒・拳銃：犯人が持っている武器から身を守るために使います。
- ③手錠：犯人を捕まえる時に使います。
- ④警笛：交通取締まりをするときなどに使います。
- ⑤携帯無線機：いろいろな指令を聞くとときや連絡をする時に使います。
- ⑥携帯端末：110番指令などの文字情報の受診などに使います。
- ⑦耐刀防護衣：刃物を持った犯人を捕まえる時に、ケガをしないように着ています。



これらの装備品はいずれも、警察官が活動を行う上で必要不可欠なものです。これらのうち、皆さんが事件・事故に遭遇または、それらを目撃された際に「110番通報」された情報について、活動中の警察官に知らせるのは、携帯無線機と携帯端末です。110番指令を携帯無線機などで知った警察官やパトカーは、その指令を聞いた場所から通報現場などに急行しますので、110番通報をされると、警察官は現在地から最短距離で現場に赴くため、より早く現場に到着することができます。

益田家屋敷



記事は、昭和56年1月24日発行の「広報すさ」から

いまま他界され、このため町では、由緒ある益田家屋敷を永久保存し、周辺を公園化、さらに文化遺産を保存陳列するための資料館の建築などの町の文化遺産保存に努めることにしています。



あの頃の須佐は

40年前の須佐を振り返る…「広報すさ」

益田屋敷 須佐町へ寄贈

このコーナーは、元気だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元氣な姿を届けたいと思います。

須佐町の旧家、益田兼恭・益田兼定・益田久美子氏（東京在住）より江戸時代初期の建物と屋敷を町に寄贈されました。益田家は藤原国兼を始祖とする家柄で、33代当主の益田親施は毛利氏三家老の一人、兼恭氏の父で故人となられた35代当主兼施氏の代からこれらを町に寄贈されることを検討されていたが、実現されな



生涯学習作品コーナー

【俳句】

しみじみと今在る命除夜の鐘

(松原) 澄川千枝

マイカード作ったけれど身につかず

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

打ち寄せる高波くだけ渦を巻き

岩屋の門へ飲み込まれゆく

(青葉台) 田村雅利



寒雀ひよ鳥虫も声ひそめ

気温異変に怯える日々

(山根丁東) ゆめはるか

年の暮れあれこれ溜まり気が重い

まずは障子に断捨離に

今日もまた30超えのGGに

お茶して反省見ておれその内

ウォーキング防寒対策ガチガチに

歩みが進まずに息だけははずむ

霜の朝靴底に残る霜の重さ

暑かった夏は今はいずこに



老人クラブ 美男美女会

須佐の偉人伝 大塚均

94

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

お年玉記念切手「麦わら蛇」

麦藁細工の蛇は、宝永年間(約300年前)駒込の百姓喜八という人が夢告により、疫病除け、水あたりよけの免符としてひろめてから、霊験あらたかと評判になった。そうしたことから江戸中の浅間神社で頒布するようになったと伝えられ、浅草でも出されるようになった。昭和40年1月5円年賀切手が発行された。大塚均54歳時の作品です。

2025		1月 地域カレンダー				
日曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
				①  元日	2 ■二十歳のつどい (秋市民館)	3 ←公民館休み→
5	6 公務始め  子ども会 7:00	7 	8  つどい会 9:30  色えんぴつ画13:30  学小・中学校始業式	9  さつき学級 13:00	10  手芸クラブ 9:30  囲碁・将棋 13:30	11 ■弥富どんと焼き 9:30
12 ■消防出初式 11:00	13  成人の日	14  エコクラブ 9:30	15  灰こう会 8:45  パッチサークル 9:30	16  生き活き体操 8:45  学育英小参観日	17 ■人権・行政相談(須佐)	18
19 ■ニューススポーツ 研修会 10:00 家庭の日	20  麻雀クラブ 13:00  ビンポンクラブ 13:30	21 	22  色えんぴつ画 9:30  グラウンドゴルフを 楽しむ会 9:30  音楽療法 13:30	23 	24  手芸クラブ 9:30  さつき学級 10:00  囲碁・将棋 13:30  学須佐保お正月遊びの会	25
26	27  エコクラブ9:30  麻雀クラブ 13:00  ビンポンクラブ 13:30	28  パッチサークル 9:30	29  灰こう会 8:45	【スマホなんでも相談所】 1月と2月はお休みします。 3月以降の予定は、QRコードで↑		



8Pの漢字クイズの答え

「新春来復」でした！

しんしゅんらいふく

●弥富さつき学級
「今の自分を全うする」

○とき 1月24日(金)
午前10時から

○ところ 弥富交流促進センター

○講師 全柳寺住職 山本昌男

○申込み 1月17日(金)までに弥富公民館 ☎2044へ



●須佐さつき学級
「みんなで楽しく書き初めをしよう！」

○とき 1月9日(木) 午後1時から

○ところ 須佐公民館

○持参物 参加費300円 筆、すずり

※申し込み締め切り日は過ぎていますが、ご都合のつく方は、飛び入り参加もOKです。(できるだけ事前連絡を)

★連絡先 須佐公民館 ☎2310

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『15日』です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R6.11月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	931戸	1,664人	(△3人)
弥富	216戸	401人	
合計	1,147戸	2,065人	(△3人)
昨年比	世帯数△26人		人数△55人

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、少子・高齢・過疎化が一段と目立つ年となり、いよいよ須佐地区の人口も、千人を切るという異常な事態となりました。人口千人の村として知られる高知県馬路村は、ゆずの栽培・加工等で地域が活性化されている有名な村です。この村を支えるのは、良きリーダーと住民の意識です。

須佐からも何度もこの村に視察に出かけましたが、未だその成果は出ていません。一人一人の意識を変えることが、今後持続可能な千人の町を維持するための課題かもしれません。Y